

公共政策の資格取得容易に

京都9大学が連携

京都府内の9大学は今年度から、地方の公共政策に明るい「地域公共政策士」の資格を学生が容易に取得できる教育プログラムを共同で始めた。地域社会や地元企業が抱える課題解決に向け、学生がチームを組んで現場で体験学習する。地域に貢献し、地方創生を担う

人材を育成する狙いだ。毎年1000人の学生の資格取得を目指す。龍谷大、京都大、京都市立大、京都産業大、京都橋大、同志社大、仏教大、京都文教大、成美大の9大学が連携。各大学の学長らが30日、京都市内で共同記者会見した。地域公共政策士の資格

付与制度は、京都府内の大学や自治体、NPO、経済団体などの連携事業として2011年度に始

まった。大学院の修士レベルの人材を対象にしてきたが、資格取得者は少数にとどまっている。国の政策に呼応して地方創生を担う若い人材を増やすため、各大学が教育カリキュラムを改革し、学部レベルの学生も「初級地域公共政策士」の新資格を与えることにした。各大学のプログラムは「環境政策能力」(龍谷大)、「京都市教育」(京都大)、「文化プロデュース力養成」(京都橋大)などと名付けた。学生の公共マインド、情報把握力、実践力、分析企画力を養成する。